



The Service Club for the YMCA
THE Y'S MEN'S CLUB OF KOFU

Affiliated with the International Association of Y's Men's Clubs Chartered 1950

c/o YAMANASHI YMCA 3-10-7, Chuo Kofu 400-0032 Japan
 Tel 055-235-8543

- 国際会長主題 : Into the next 100 Years with FELLOWSHIP & IMPACT
 「フェロウシップとインパクトで次の100年へ」 Saumul Chacko(India)
- アジア会長主題 : Elegantly Change with New Era
 「新しい時代とともに、エレガントに変化を」 Chen Ming Chen(Taiwan)
- 東日本区理事主題 : Let's act now for the future. 「未来に向けて今すぐ行動しよう」 佐藤重良 (甲府21クラブ)
- あずさ部長主題 : 「ワイズへの参加と交流を楽しもう」 後藤明久 (富士五湖クラブ)
- 甲府クラブ会長主題 : 「楽しいワイズ活動を全員参加で!」 田中克男

甲府ワイズメンズクラブ

2022 12月 会報

- 今月の強調目標
- キリスト教理解・記録

■ 今月のことば ■

「彼らが王の言葉を聞いて出かけると、東方で見た星が先立って進み、ついに幼子のいる場所の上にとまった。学者たちはその星を見て喜びにあふれた」

マタイによる福音書2章9-10

日本基督教団南甲府教会 大木 正人 牧師 選

今月の例会案内

 **クリスマス例会**

日時 : 2022年12月13日 (火) 18:00-20:30
 会場 : ホテル談露館
 担当 : クラブサービス委員会
 司会 : 丸茂 正樹 君



「クリスマスに思う」

田草川 すみ江

♪アドベントクランツに明かりがつくと 神の子イエス様のお誕生が近くなる♪

12月になると在職中、子ども達と一緒に歌った讃美歌を知らず知らずに口ずさんでいるこの頃です。

今年は年初めからコロナの蔓延、ロシアのウクライナへの侵略、政治では様々な思いがけない出来事が沢山起こりました。

私が5歳で幼稚園に通っていたのはもう随分昔、戦後の何も無い時代。今のようにスクールバスや車で園に送って貰う事はなく、お友達と手をつないで通うのどかな時代でした。クリスマスが近づくとアドベントクランツの蝋燭に毎週1本ずつ明かりが灯り4本の蝋燭に灯が点くとクリスマスです。毎日アドベントカレンダーの窓を開きクリスマスが来るのを心待ちにしていました。クリスマスの当日は暖かいストーブの周りで園長先生からイエス様のお誕生の話聞き皆でページェント(降誕劇)をしたものでした。何よりも嬉しかったのはクリスマスプレゼント。それは母が私の為に作った熊ちゃんのクッションでした。後で聞くとずっと内緒で私が寝てから毎晩一針一針縫ってくれた物でした。その熊ちゃん長い間大切な宝物としていつも枕元にありました。戦後の何も無い時代でしたので何もかもが手作りで、何よりも素敵なプレゼントでした。

今は沢山の物が溢れ、あらゆる物が整い、恵まれ、何不自由なく便利に過ごしている日々です。そのような中で何か大切な物が失われているような気がしてならないのです。便利な世の中だからこそ、ほんの少しだけ手を加えて他の人にプレゼントする。それは物だけではなく日々の生活の中で色々あります。声掛けや身近な方に手を差し延べること等々。一寸した声掛けで心が温かくなり、お互いに寄り添い争い事などはなくなると思うのです。この時期になると、母の優しい笑顔とぬくもり、そして、熊ちゃんのプレゼントを思い出して幸せな気持ちになります。今年は家族と共にどのようなクリスマスを迎えるか今から楽しみです。

皆様、佳きクリスマスのお時をお過ごし下さい。そして、新しい年も宜しくお願い致します。

第1部 クリスマス礼拝

司会 田草川すみ江
 奏楽 西川 優子

礼拝説教者

日本基督教団南甲府教会 大木 正人 牧師

第2部 例会

- ・開会点鐘 田中 克男 会長
- ・ワイズソング・ワイズの信条
- ・会長挨拶・ゲスト紹介 田中 克男 会長
- ・諸報告
- ・ハッピーバースデー&アニバーサリー

第3部 祝会

- ・食前の祈り 南甲府教会 大木 正人 牧師
- ・ワイズディナー
- ・クリスマス音楽会

チェロ 北川 公美子 様
 ピアノ 西川 優子 様

- ・甲府ワイズの歌
- ・閉会点鐘 田中 克男 会長

11月のデーター

会員数 29名 (内広義会員1名) 出席率 52 %
 例会出席 メン15名 ニコニコ : 4,082円
 ゲスト 1名 平賀 佳雅 様 (講師)

11 月 例 会 報 告

丹後 佳代



11月8日(火)18:45定刻に中澤大氏の司会で田中克男会長の開会点鐘を合図に11月例会がスタートしました。

まだまだコロナが収まらないということでワイズソングを1番だけ歌いました。その後、ワイズの信条、会長あいさつと続きました。今月の言葉は根津宏次氏選でしたが、お休みのため、司会者が代読し、選んだ理由も紹介されました。食前の感謝は、はじめて中田純子氏がお祈りされました。その後、委員会ごとに設けられた席で会話を楽しみながらワイズディナーをとりました。旬である栗ごはんが入ったお弁当でした。

ワイズディナーの後はゲスト卓話として、山梨YMCAチャイルドケア事業部学童期ディレクター平賀佳雅(ひらがよしえ)氏による「YMCAの学童期の子供たち」と題したお話でした。学童期の子供たちそれぞれに対応したプログラムを行っていることが紹介されました。プライムタイムでは自分たちで考える力を養うこと、キッズパラダイスでは国際的視野を持てるようなプログラムであること、放課後等デイサービスでは決められたプログラムの中で1人1人にあった対応をしていることなどを詳しくお話いただきました。また最後に心がけていращやることとして「子供たちが帰ってこられる場所」が山梨YMCAであるようにしたいと熱く語られました。とても分かりやすく、また、今後のワイズの活動にも役に立つお話でした。

卓話後はハッピーバースデー&ハッピーアニバーサリー、諸報告では中田純子氏より総主事としてバザーのお礼と報告がありました。他の諸報告は廣瀬氏より、バザー報告の補足、新年合同例会について、2月のあずさ部評議会について、渡辺氏より、1月8日(日)のお正月を遊ぼうについて、杉田氏より、12月13日(火)クリスマス例会について、田草川氏より11月12日(土)大澤英二召天2周年記念講演のつどいについて、それぞれがありました。その後、YMCAの歌を1番だけ歌い、最後に田中会長が卓話の感想として会社経営でも役に立つお話だったと述べ、閉会点鐘、終了となりました。

11月役員会報告

日時：2022年11月29日(火)18:30~20:00

場所：山梨YMCAグローバルコミュニティセンター内

出席者：田中克、渡辺、廣瀬、田草川、丹後、小倉、ピーター・M、標、杉田、石川和

○報告事項

・10月31日(月)第62回チャリティーバザー 第4回実行委員会(直前)参加者：廣瀬、運営方法分担表進行表等について最終確認を行った。

・11月3日(木)第62回チャリティーバザー 参加者：メン14、メネット5、コメント1、他英語学校1

・11月8日(火)甲府クラブ11月例会、担当：地域奉仕委員会、談露館 出席者：メン15名、ゲスト1名、「YMCAの学童期の子供たち」講師 チャイルドケア事業部 学童期ディレクター 平賀佳雅様、ニコニコBOX 4,082円

・11月11日(金)第62回チャリティーバザー 第5回実行委員会(反省会) 参加者：渡辺、廣瀬

・11月12日(土)大澤英二召天二周年記念講演のつどい2022が山梨YMCA3階ベテルで開催。参加者：渡辺、小倉、小倉メネット、田草川、石川健、金丸、鈴木、廣瀬

○協議事項

・12月例会プログラム 担当：クラブサービス・プログラム委員会杉田委員長よりプログラムが提示され承認。

・新年合同例会 担当：役員会 プログラム案を提示(廣瀬)、一部修正が必要。12月上旬に役員に最終案を配信、内容を12月例会で最終確認し、例会後すぐに各クラブに案内を出す。

・甲府クラブがホストクラブとなるあずさ部第二回評議会(2023年2月11日(土))の評議会、懇親会、食事、卓話等のタイムスケジュールについて協議、評議会を2月例会振替にすることを決定した。

○その他

・次次期あずさ部部長クラブとなる甲府クラブのあずさ部役員を選出にあたり、打ち合わせを行った。

・NP0法人甲府駅北口まちづくり委員会主催の第12回お正月を遊ぼうが1月8日(日)9:00よっちゃばれ広場で開催、打ち合わせが12月3日(土)19:00藤村記念館で行われる。

・1月6日(金)(YMCA学童のイベント)「昔のお正月遊びを体験しよう」が山梨YMCAで開催

・バザーと11月例会の間の期間が短いので、毎年11月例会の出席率が悪い。来年は11月の出席率を上げるよう対策を考える。

廣瀬 静男

第62回山梨YMCAチャリティーバザー

廣瀬 静男

2022年11月3日(木) 雨の心配もなく、バザー日和になりそう。8:00関係者全員が山梨YMCA玄関前に集合、中田総主事の挨拶で開場の準備が始まる。甲府クラブは当日の進行予定を確認後、各自担当の持ち場へ移動、最後の開場準備を開始。

甲府クラブはびっくり市、百均市、果物・北海道物産・お皿・身延まんじゅう等の販売を担当しました。びっくり市は前日に値付け・包装済みの商品をすべて1F西側の倉庫に移動したので、テント売場への移動は非常にスムーズに行えました。

9:00から3階ホールベテルで開会礼拝、インマヌエル甲府キリスト教会の岡信男牧師のメッセージと祈祷、松村実行委員長の挨拶、YMCA福田担当の事務連絡の後、各自開場の準備にとりかかりました。今年はYMCAのスタッフが各事業グループに配置され、びっくり市には仙洞田結さんが準備作業に加わりました。

9:30開場のアナウンス、びっくり市は10:00オープンですが、すぐに30人ほどの列ができました。びっくり市オープン、今年もコロナ感染対策で1回の入場人数を制限しました。いつものことですが会計は集金、袋詰めで大混雑、1時間経過しましたが、まだ商品がかなり残っていました。タイミングを見計らい11:30半額セールを開始、今年は過去の売れ残り品をすべて処分するようにと実行委員会からの要請がありましたが、半額セールの効果は大きく目標をほぼ達成できました。

びっくり市の売上は254,162円、百均市は21,300円とほぼ前年並みの数字を確保できました。百均市は杉田会員が責任者となり頑張り良い結果を出してくれました。果物、北海道物産、身延まんじゅうは完売でした。毎年おいしい果物を提供してくれます鶴田さん、北海道物産の鈴木先生、販売を担当するメネットの皆さまありがとうございました。

びっくり市、百均市には甲府やまなみクラブの3名が参加して大奮闘、若い丹後コメントも大活躍。

閉会式では天候にも恵まれ大盛況でしたと松村実行委員長の挨拶、中田総主事の閉会の挨拶、富士五湖クラブ原副会長から10月15日の設立20周年記念例会の大成功へのお礼の挨拶があり、その時のニコニコ募金が山梨YMCAに贈呈されま

した。全員で記念撮影を行い解散となりました。その後甲府クラブはテントの解体、机の片付け、ごみの廃棄等を行い14:00にはすべての作業終了、最後に田中会長のねぎらいの挨拶がありました。新しい会館になって3回目の屋外でのバザー大分定着してきました。家族連れや若い人が増えてきたように思います。

みんながもっと楽しめるように工夫をし、中心街に賑やかさが戻り、町の活性化につながっていくことを望みます。9月16日の第1回実行委員会から1カ月半にわたって協力してくださいました多くの皆様に感謝します。



甲府ワイズメンズクラブメネット会はこんな事をしています。

標 恭子

甲府メネット会は、現在10名の会員で活動しています。11月3日の山梨YMCAバザーでは鈴木メンの北海道チーズ、池上メンが寄付して下さったみのぶまんじゅう販売のお手伝い、コロナ禍で会員が集まって焼くことができなかつたパウンドケーキを石塚メネットがお1人で約50本焼いてくださいました。そのパウンドケーキ販売と、荒川メネットから寄付していただいた陶器を販売することができ、売り上げの一部を山梨YMCAに寄付することができました。石塚メネットと荒川メネットのお二人には感謝の気持ちでいっぱいです。また当日協力していただいたメネット会員の皆様も本当にありがとうございました。

バザーの売り上げ金を使って、東日本区ワイズメネット会への協力事業としてのYMCA施設に絵本を送る活動と、東日本大震災復興支援や国際プロジェクト「ウクライナの子供たちへの支援」にも寄付することができました。前年度「絵本を贈る活動」は、東日本区全体で57施設に284冊の絵本を送ることができ、山梨YMCAには9カ所の施設に贈呈することができました。この東日本区メネットの事業はとても良い事業だと思っています。この事業を続けていくためにも、メネット会員以外でご賛同していただける方の献金をよろしく願いいたします。

大澤 英二 召天2周年記念 講演の集い2022

渡辺徳之

大澤英二 召天2周年記念講演の集い2022が11月12日(土)午後1時半から、山梨YMCAグローバル コミュニティセンター3階の「大澤英二記念ホール」 ベテルで、大澤英二先生を思っていてくださる皆様へとの呼びかけで 大澤英二記念会の主催で開催されました。

参加者は、YMCA関係者を始め、教会、ワイズメン、ハイY、等大澤英二先生との交流のあった方々等約80名程の参加者でした。

大和田浩二さんの司会で始まり、講演の前に 賛美歌、聖書、寺島昭二牧師による奨励「神、共にいて」の後、大澤祥子さんのご挨拶があり、講演会に入りました。

講師は、大澤英二さんと深い親交のあった斎藤實氏で現在YMCA史学会理事長・日本基督教団下谷教会員であり本年御年95歳の今でも活動を続けておられる方です。

演題は「大澤英二にみる YMCA運動の真髄」～YMCA史学会から学ぶ～でした。

講師は、1880年5月に東京YMCA創立から現在に至る歴史的変遷の中からYMCAが辿ってきた事象を解説され、今後YMCAの在るべき姿を熱く語られておりました。

講演の後、山梨YMCAの中田純子総主事からむすびの挨拶があり、参加者の「献花」をもってこの講演会は終了しました。

甲府クラブから、鈴木健司・金丸さぶろう・小倉恵一夫妻・田草川すみ江・廣瀬静雄・中田純子・石川健・渡辺徳之が参加しました。

これからの行事予定

12月13日(火) 12月クリスマス例会(クラブサービス)

12月20日(火) 12月役員会(山梨YMCA3F)

2023年
1月6日(金) YMCA学童のイベント

「昔のお正月遊びを体験しよう」山梨YMCAで開催

1月8日(日) 「お正月を遊ぼう」甲府駅北口ひろば

ハッピーバースデー(メン)

小倉恵一(2) 標 克明(15) 宮本秀憲(13)

田中克男(23) 中田純子(30)

12月

ハッピーバースデー(メネット・パートナー)

廣瀬昌子(26)

YMCA
たより

「続けることの意味」

総主事 中田 純子

11月3日文化の日に、毎年恒例の第山梨YMCA「チャリティーバザー」が屋外実施で開催されました。コロナ禍でありながら、多くの皆様が集う素晴らしいチャリティーバザーとなりました事に感謝申し上げます。

総主事就任1年目のチャリティーバザーで神様からの贈り物かと思える出来事がありました。5年前に児童発達支援事業を開設し、生きづらさを抱えた当時17才の少女をお預かりしていました。その彼女が大学4年生となり就職内定 2023年4月から福祉職に就く事を報告に来てくれました。彼女を見た瞬間バザー会場で思わずギュッと抱きしめ「会えてよかった。」と涙した私でした。いつも心の片隅で心配していただけに、彼女が私に会いに来てくれたことは喜びの瞬間でした。また、手渡された手紙に目を通すと『お世話になった当時、学校に行けず YMCA に行くことで何とか自分の存在理由を探していた私をぎゅっと抱きしめ「いつでも、来なさい」と言ってくれたことを今でも思い出します。』と記されているいました。当時の行動、言葉が5年経った今、彼女に対し同じ行動、こちらが言ってあげた言葉につながる言葉を私自身が伝えられたことに感謝しかありませんでした。

「人とつながり、その人のやりたい何かが見つかり、良くなっていく人々。これまで私たちが目指して来たことが彼女との再会で実を結び喜びと感謝が溢れました。さらに彼女から、「11月3日はYMCAのバザーが行われる日だった」とい、どうしてもお会いして報告したかったので一か八か来てみました。」と一言。YMCAがこれまで同じ日に続けてきた事の意味と大切さ、先人の想いはここに在ると実感いたしました。

これからも、山梨の地においてひとりひとりが輝きを放ち、よりよい地域づくり、人づくりのために寄り添いを続けられることを強く希望します。これから63回64回へとつながる未来を想像し、今後は、自粛してきた人に必要な「食」をテーマとしたバザーを行えることを目指したいと思います。

今回ワイズメンズクラブから様々な形でご協力頂きました。実施まで実行委員会を重ね、お忙しい中出席して下さった関係者の皆様、本当にお疲れ様でした。これまで繰り返しお伝えしてきていますが、山梨YMCAがワイズメンズクラブの皆様と共に豊かな歩みを与えられていること、そして継続できている事に意味があり、誇れることであると感謝しかありません。この関係が継続されることを祈りその時を持ちつづけていきたいと思います。